

プレスリリース

※展覧会の名称は変更する場合があります。

ヨーロッパ名窯 美麗革命！
アール・ヌーヴォーの装飾磁器

Decorated Porcelain in Art Nouveau Period

平成29年2月28日(火)－4月9日(日)

細見美術館

PRESS RELEASE

ヨーロッパ名窯 美麗革命！

アール・ヌーヴォーの装飾磁器

Decorated Porcelain in Art Nouveau Period

開催趣旨

アール・ヌーヴォーは、欧米で19世紀末から20世紀初頭にかけて全盛を極めた工芸や建築、グラフィック・アートなどの多岐にわたる装飾様式で、流れるような曲線によって構成されていることを特徴とします。

こうした流行は、同時代における陶磁器のデザインにも顕著に現れることとなり、美しく優雅な作品や東洋陶磁に倣った作品が次々と誕生していきます。これは、透明釉の下に多色の模様を施すような釉下彩をはじめとする新しい技術や技法の開発があって、初めて可能になったものといえます。

本展覧会は、アール・ヌーヴォー様式によるヨーロッパ名窯の作品の数々を、国内において総合的に紹介する初の展覧会です。

1889年と1900年のパリ万国博覧会を軸に、釉下彩を伴ったセーヴルやロイヤル・コペンハーゲン、マイセンなどの作品を中心としながら、上絵付や結晶釉などの加飾による作品をまじえ幅広く展示します。

さらに、日本との結びつきを示す作品、および関連するリトグラフや素描、書籍を併せた約180点によって多彩な様相を紹介していきます。



「上絵金彩ヒナギク文コーヒーサービス」 セーヴル 岐阜県現代陶芸美術館蔵

細昆吉美館

〒606-8342
京都市左京区岡崎最勝寺町6-3
TEL075-752-5555・FAX075-752-5955
<http://www.emuseum.or.jp>

平成29年 2月28日(火)－4月9日(日)

※会期中、展示替えがあります。

Decorated Porcelain in Art Nouveau Period

展示構成

1 フランス名窯の復活 ~フランス セーヴル~

フランスを代表する名窯セーブルの技術とデザインの精華

2 釉下彩の先駆者 ~北欧 ロイヤル・コペンハーゲン、ピング&グレンダール、ロールストランド、ボルシュグレン~

北欧の名窯の作品にみるアール・ヌーヴォー磁器の「釉下彩」技法の精華

3 東洋のアール・ヌーヴォー ~日本~

日本の伝統と西洋の影響を受け、完成をみた「日本のアール・ヌーヴォーの磁器」を紹介

4 新たなる挑戦者 ~ドイツ・オランダ KPMベルリン、マイセン、ニュンフェンブルク、ローゼンタール、ローゼンブルフ~

ヨーロッパ諸窯にみるアール・ヌーヴォーの磁器への挑戦

5 もう一つのアール・ヌーヴォー 釉薬の妙技 ~結晶釉、窯変釉~

西洋磁器の新たな加飾技法への取り組みを紹介

展示の見どころ

● アール・ヌーヴォー様式によるヨーロッパ名窯の数々を紹介。

※アール・ヌーヴォー(art nouveau)はフランス語で「新しい藝術」を意味する19世紀末から20世紀初頭に欧米を中心に興った芸術様式のこと。流れるような曲線によって構成されていることを特徴とする。

● 日本との結びつきを示す作品やパリ万国博覧会の報告書、デザイン画、北斎漫画といった資料も充実。



「北斎漫画」 葛飾北斎 浦上蒼窓堂蔵



「釉下彩桔若文花瓶」 宮川香山(初代) 個人蔵

■ 主な出品作品



「上絵金彩エジプト女性センターピース(部分)」
KPMベルリン 岐阜県現代陶芸美術館蔵



「上絵マーガレット文花瓶」
セーヴル (有)セレスト蔵



「上絵花図ティー pocot」
ローゼンブルフ 岐阜県現代陶芸美術館蔵



「上絵金彩花文皿」
セーブル (有)セレスト蔵



「釉下彩クロッカス文コーヒーサーヴィス」
マイセン 岐阜県現代陶芸美術館蔵



「尾長鳥とミモザ図花瓶」
セーヴル 個人蔵



「釉下彩眠り猫」
ロイヤルコペンハーゲン 塩川コレクション

■ 展覧会イベント

「洋食器のミニ茶会」 3月中旬予定

■ 展覧会図録

「アール・ヌーヴォーの装飾磁器 ヨーロッパの名窯 美麗革命！」

定価：2,300円(税込) 【2015年12月19日発行、200ページ、カラー】

■ 基本情報

主 催：細見美術館 京都新聞

出品作品数：約180件

入館料：一般 1,300円(1200円) 学生 1,000円(900円)

※()内は20名様以上の団体料金

休館日：毎週月曜日(祝日の場合、翌火曜日)

開館時間：午前10時～午後6時(入館は、午後5時30分まで)

お問合せ先：担当学芸員 伊藤京子 gakugei@emuseum.or.jp

広報担当 三宅由紀 kouhou@emuseum.or.jp

